

COVID-19 の感染の状況が少し落ち着きだした10月に、フォローアップ研修を行いました。落ち着いてきたとはいえ、まだ予断は許さないため、感染に関する対策を整え、会場は3ヶ所に分散しました。



今回は、皮膚・排泄ケア認定看護師の松尾師長から「排泄ケア」について講義がありました。人間にとって生命維持に不可欠であり、基本的欲求に関わるため、解剖生理からアセスメント視点、ストーマケアを含むケアの方法を学びました。



続いて、リハ・育療支援部門の理学療法士・作業療法士の方からポジショニングや関節可動域訓練、肺理学療法に関して、演習を交え教えていただきました。実際に自分たちが患者役になり、体位を変えてもらったり、肺理学療法をしてもらったり…。めったに体験できないことです。ケアを受ける側に気持ちを理解することにつながった…はず…。



また、久しぶりに同期が集合する研修だったので、みんなで演習をしながら顔がほころぶ～☆彡

研修担当者もほっこりしました(^)♪

秋は、入職後6か月の新人技術チェックや育成面談中間評価で各々が自分を振り返る時期でもあります。4月の入職時と比べれば、格段に成長できているのですが、自信がないと感じてしまう新人さんも多いです。でもね、大丈夫、着実に成長してきているからね。みんな一緒だから、ともに頑張りようね！！

